

# 2020年3月期 決算補足説明資料

---

2020年5月  
(証券コード：4553)

# 2020年3月期 決算概要

- 売上高 / 近年の追補品が順調に推移し、増収
- 営業利益 / 薬価改定があったものの、前年並みの水準を維持
- 経常利益 / デリバティブ評価益が増加したため増益

(単位：百万円，%)

期	20/3			19/3		
	金額	対売上高 比率	前年同期 比	金額	対売上高 比率	前年同期 比
売上高	110,384	100.0	+ 5.0	105,104	100.0	+ 12.5
売上原価	59,738	54.1	+ 5.3	56,705	54.0	+ 12.6
販管費	34,503	31.3	+ 6.4	32,431	30.9	+ 3.3
営業利益	16,143	14.6	+ 1.1	15,968	15.2	+ 37.1
経常利益	20,990	19.0	+ 11.3	18,865	17.9	+ 61.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,503	13.1	+ 7.6	13,475	12.8	+ 107.5
(為替レート：TTM) 1USドル	2020/3		2019/3		2018/3	
	108.83円		110.99円		106.24円	

※ペンサグループの業績につきましては、貸借対照表は2020年3月期末より連結対象としておりますが、損益計算書は2021年3月期 第1四半期より対象となり、上記には含みません。

# 2020年3月期 決算概要(計画達成率)

- 売上原価率 / 2019年10月薬価改定を見込んだ計画に対して、セールスマックスの改善・生産部門における効率化により改善
- 経常利益 / デリバティブ評価益及び為替差益等により上振れ

(単位：百万円，%)

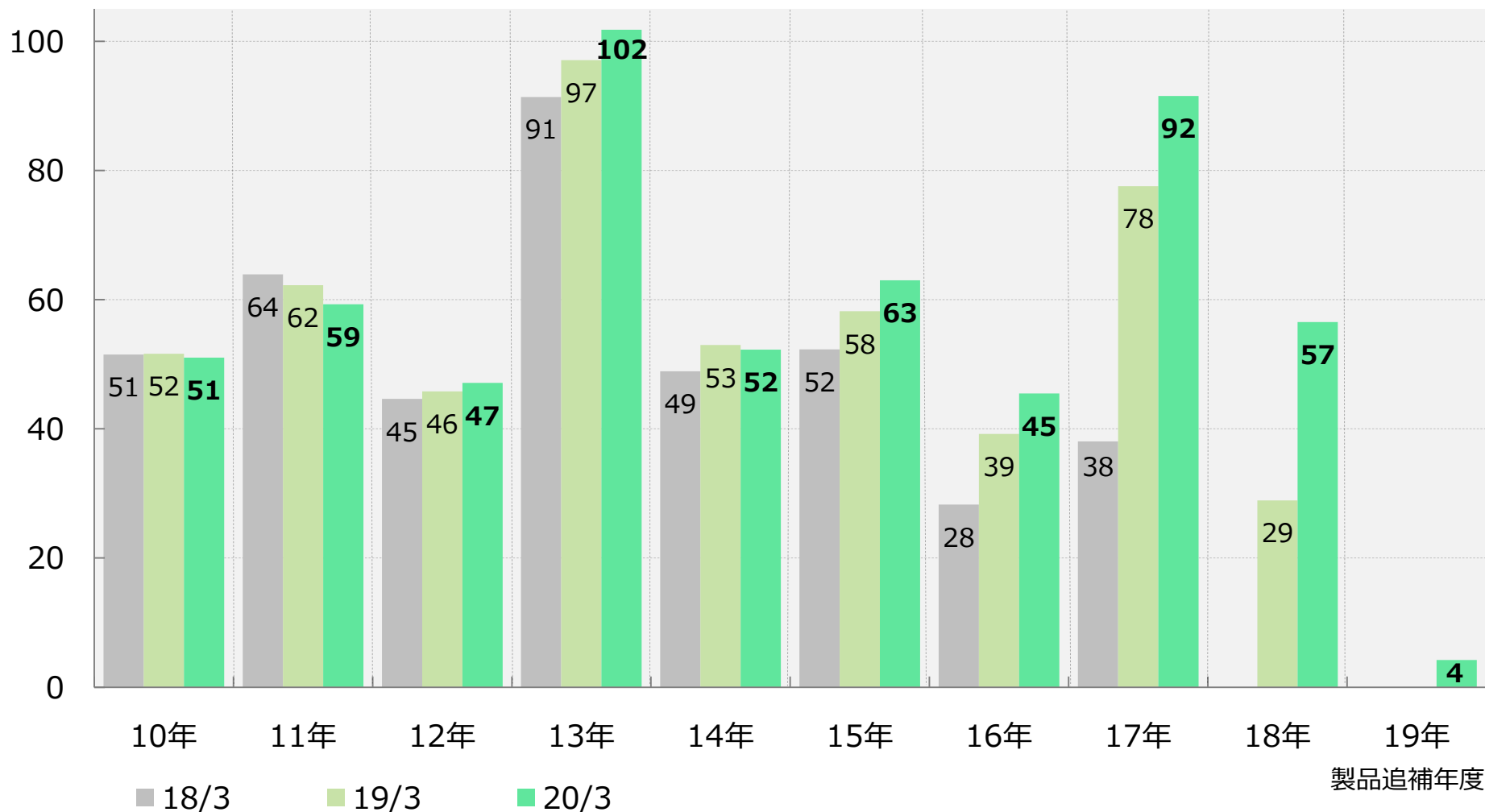
期	20/3				
	実績		通期計画		
項目	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	達成率
売上高	110,384	100.0	111,000	100.0	99.4
売上原価	59,738	54.1	62,000	55.9	96.4
販管費	34,503	31.3	34,500	31.1	100.0
営業利益	16,143	14.6	14,500	13.1	111.3
経常利益	20,990	19.0	14,600	13.2	143.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,503	13.1	10,400	9.4	139.5

※ペンサグループの業績につきましては、貸借対照表は2020年3月期末より連結対象としておりますが、損益計算書は2021年3月期 第1四半期より対象となり、上記には含みません。

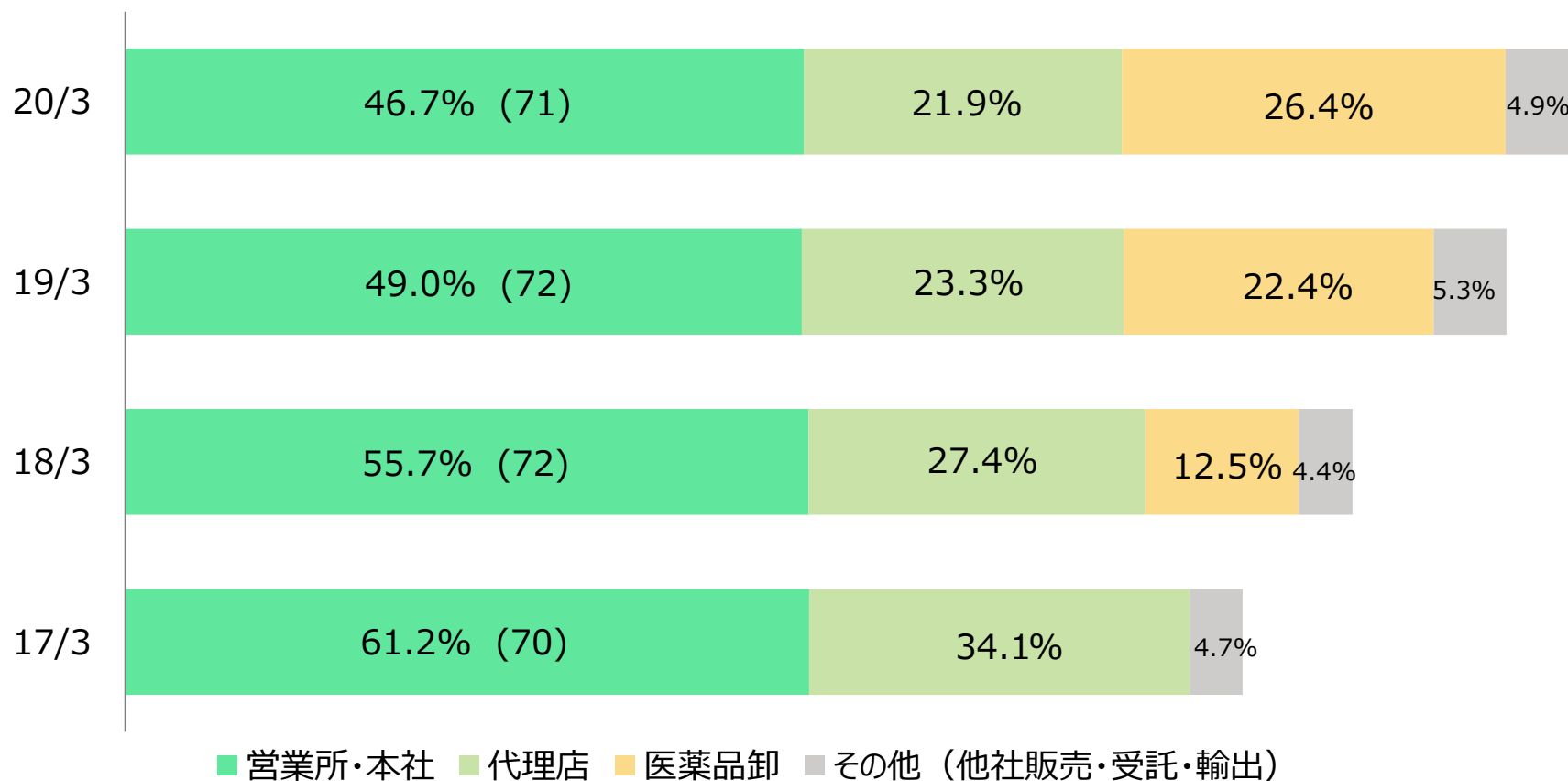
# 追補年度別売上高推移 (単体)

● 近年の追補品の売上高が順調に推移

(億円)

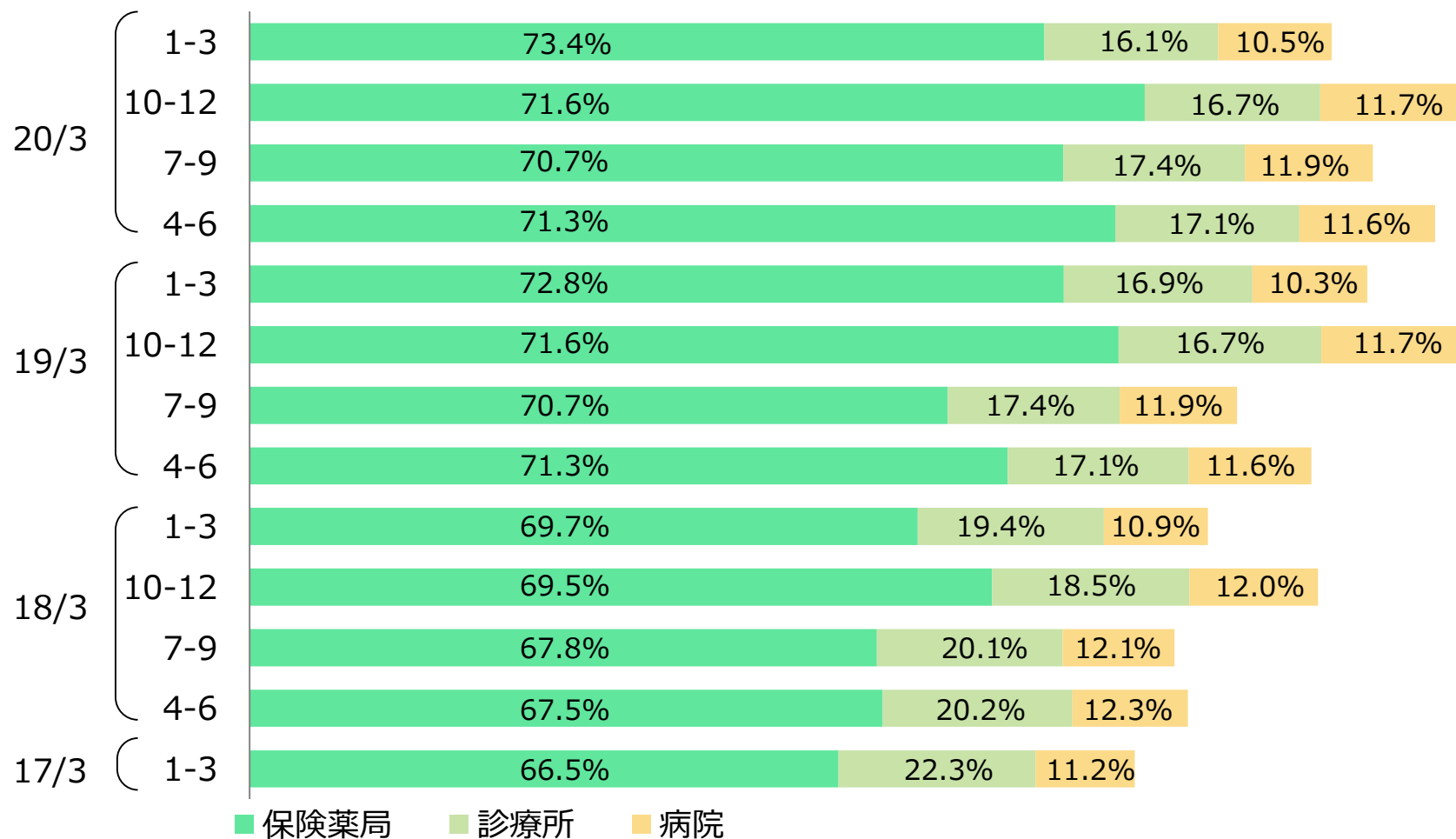


# 販路別売上高推移 (単体)



( ) は営業所数

# 納入先売上高推移 (単体)



(他社販売等を除く。保険薬局 + 診療所 + 病院を100%としている。)

# 販売費及び一般管理費

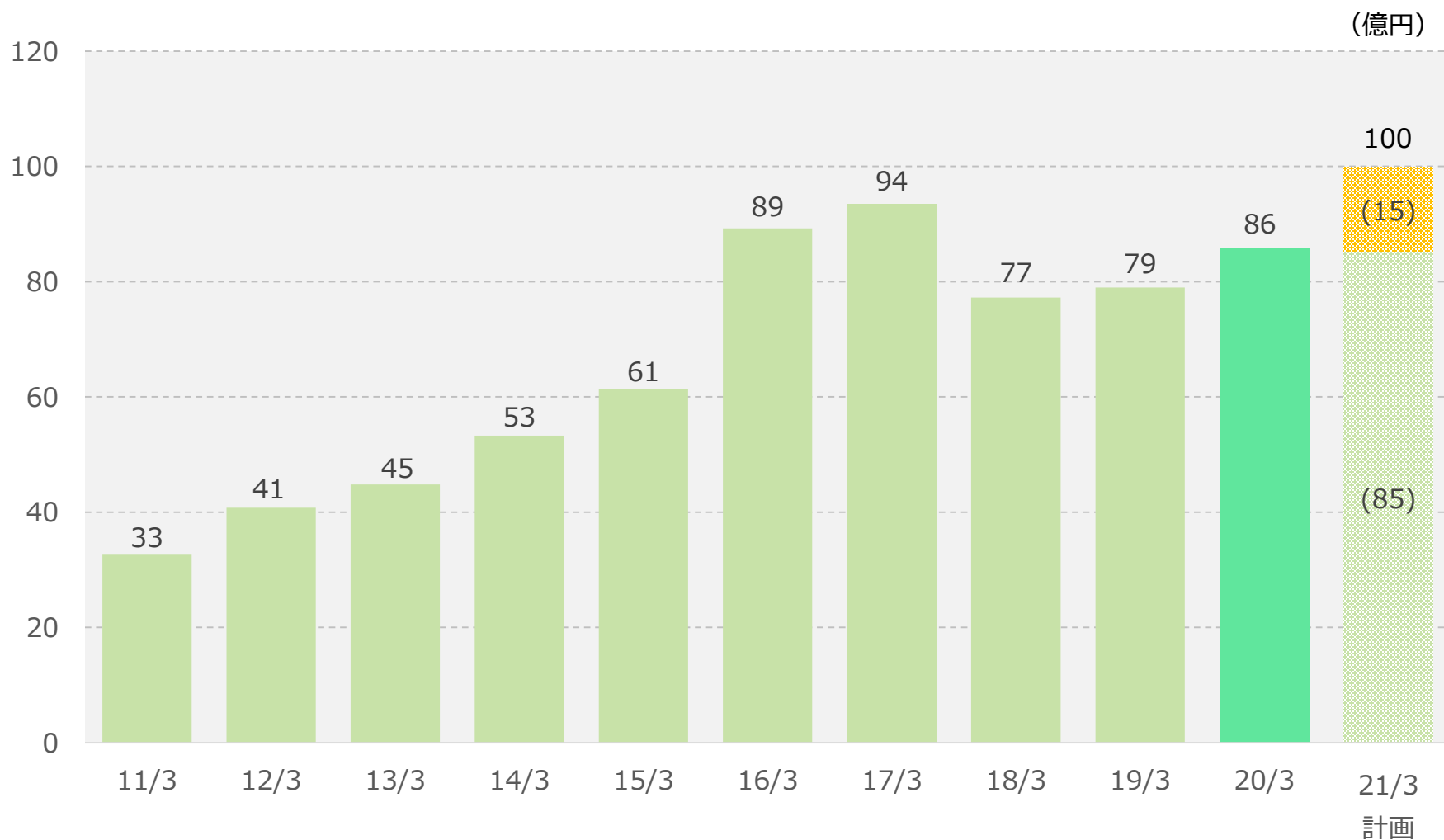
- 販管費は前年同期比で増加しているものの、対売上高比率ではほぼ変化無し
- その他はPensa Investments, S.L.買収関連費用により増加

(単位：百万円，%)

期	20/3			19/3		
	金額	対売上高比率	前年同期比	金額	対売上高比率	前年同期比
人件費	14,386	13.0	- 0.6	14,474	13.8	+ 7.8
研究開発費	8,566	7.8	+ 8.2	7,916	7.5	+ 2.5
荷造費	2,177	2.0	+ 9.2	1,993	1.9	+ 2.7
減価償却費	980	0.9	- 7.9	1,065	1.0	- 9.2
広告宣伝費	1,034	0.9	+ 52.9	676	0.6	- 33.4
その他	7,357	6.7	+ 16.7	6,305	6.0	+ 2.9
販管費	34,503	31.3	+ 6.4	32,431	30.9	+ 3.3

※ペンサグループの業績につきましては、貸借対照表は2020年3月期末より連結対象としておりますが、損益計算書は2021年3月期 第1四半期より対象となり、上記には含みません。

# 研究開発費推移



■ ペンサグループ

※11/3~20/3はペンサグループの実績は含まず



# 貸借対照表

- **流動資産** / Pensa Investments, S.L.買収により、現金及び預金・有価証券が減少し、商品及び製品等の棚卸資産が増加  
その他流動資産のデリバティブ資産が増加
- **固定資産** / Pensa Investments, S.L.買収により、のれん・その他固定資産が増加
- **流動負債** / Pensa Investments, S.L.買収により、短期借入金が増加

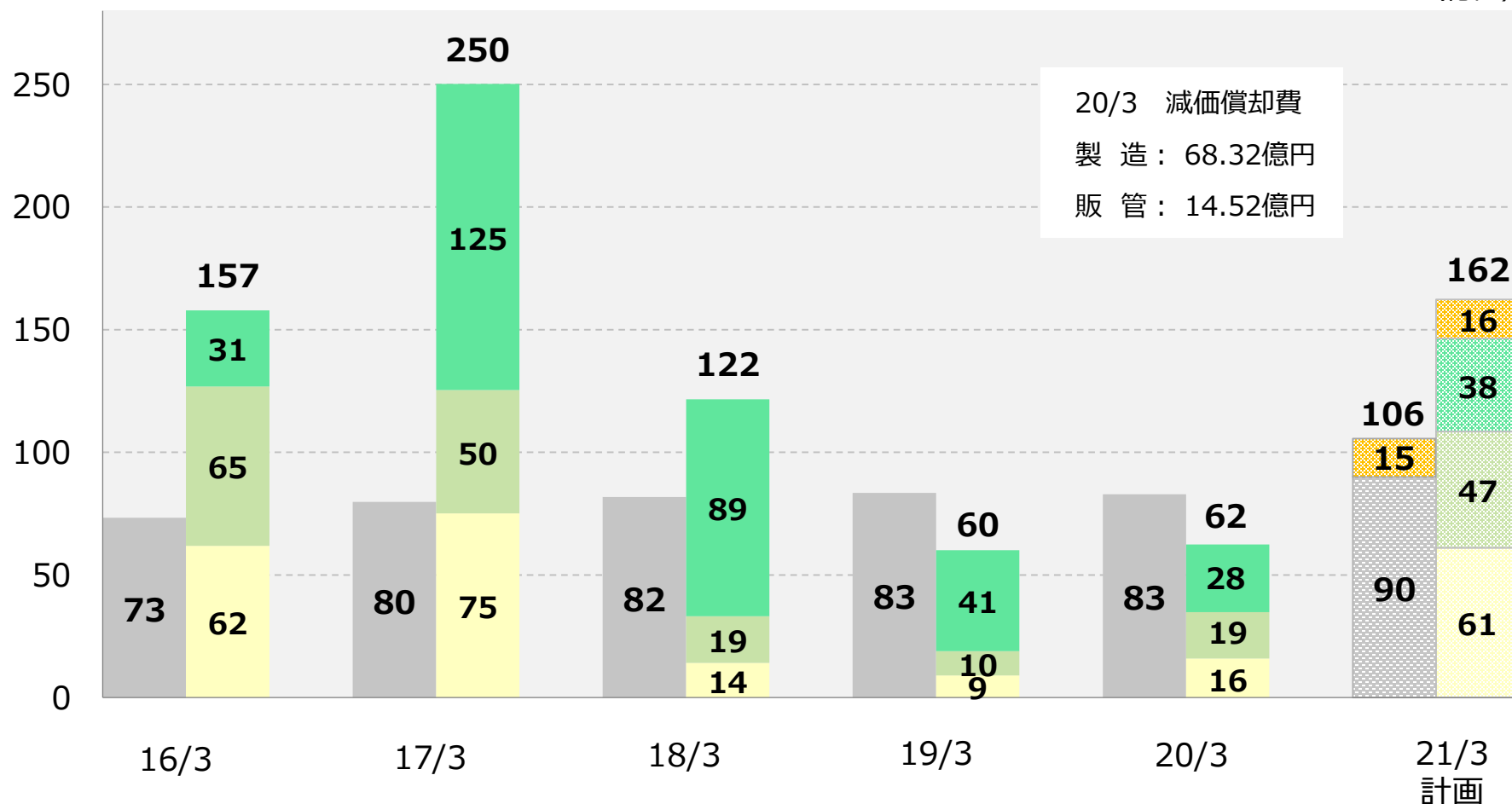
(単位：百万円)

項目	20/3	19/3	増減	項目	20/3	19/3	増減
現金及び預金	18,713	26,762	- 8,048	支払手形及び買掛金	9,585	6,466	+ 3,118
受取手形及び売掛金	35,191	27,905	+ 7,286	電子記録債務	11,147	9,990	+ 1,157
電子記録債権	6,401	6,719	- 318	短期借入金	21,368	850	+ 20,518
有価証券	-	4,999	- 4,999	1年内返済予定の長期借入金	6,767	6,396	+ 370
商品及び製品	24,130	17,591	+ 6,538	設備関係支払手形及び未払金	3,701	2,069	+ 1,632
その他流動資産	35,938	24,226	+ 11,711	その他流動負債	16,898	11,404	+ 5,493
<b>流動資産計</b>	<b>120,375</b>	<b>108,206</b>	<b>+ 12,169</b>	<b>流動負債計</b>	<b>69,468</b>	<b>37,177</b>	<b>+ 32,290</b>
建物及び構築物	47,941	47,376	+ 565	長期借入金	36,640	43,407	- 6,767
機械装置及び運搬具	13,033	11,913	+ 1,119	新株予約権付社債	15,024	15,035	- 10
建設仮勘定	4,936	2,110	+ 2,826	その他固定負債	2,356	1,412	+ 943
のれん	10,209	-	+ 10,209	<b>固定負債計</b>	<b>54,020</b>	<b>59,854</b>	<b>- 5,834</b>
その他固定資産	31,642	19,197	+ 12,444	<b>負債合計</b>	<b>123,488</b>	<b>97,032</b>	<b>+ 26,456</b>
<b>固定資産計</b>	<b>107,763</b>	<b>80,597</b>	<b>+ 27,166</b>	<b>純資産合計</b>	<b>104,649</b>	<b>91,771</b>	<b>+ 12,878</b>
<b>資産合計</b>	<b>228,138</b>	<b>188,803</b>	<b>+ 39,335</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>228,138</b>	<b>188,803</b>	<b>+ 39,335</b>

※ペンサグループの業績につきましては、貸借対照表は2020年3月期末より連結対象としております。

# 設備投資・減価償却費

(億円)



20/3 減価償却費  
 製造：68.32億円  
 販管：14.52億円

- 設備投資 (ベンサグループ)
- 設備投資 (山形工場)
- 設備投資 (岡山工場)
- 設備投資 (その他)
- 減価償却費
- 減価償却費(ベンサグループ)

※減価償却費は研究開発費分も含む  
 ※16/3~20/3はベンサグループの実績は含まず

# 2021年3月期 通期業績計画 連結

- 売上高 / ペンサグループが連結対象となることにより、売上高は35.9%増
- 営業利益 / Pensa Investments, S.L.の買収に伴う一時的なPMIコストの増加、売上原価率の上昇により11.4%悪化
- 経常利益 / 為替相場の先行きが不透明なため、デリバティブや為替等の影響を除いた計画

(単位：百万円，%)

期	21/3 計画			20/3 実績		
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率	前期比
売上高	150,000	100.0	+ 35.9	110,384	100.0	+ 5.0
売上原価	88,600	59.1	+ 48.3	59,738	54.1	+ 5.3
販管費	47,100	31.4	+ 36.5	34,503	31.3	+ 6.4
営業利益	14,300	9.5	- 11.4	16,143	14.6	+ 1.1
経常利益	14,800	9.9	- 29.5	20,990	19.0	+ 11.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,400	6.9	- 28.3	14,503	13.1	+ 7.6

# 2021年3月期 通期業績計画 国内

(東和薬品、ジェイドルフ製薬、大地化成、グリーンカプス製薬)

- 売上高 / 薬価改定の影響があるものの近年の追補品を中心に増収
- 営業利益 / 薬価改定の影響により売上原価の対売上高比率が前期比0.9pt上昇、販管費の増加により減益
- 経常利益 / 為替相場の先行きが不透明なため、デリバティブや為替等の影響を除いた計画

(単位：百万円, %)

期	21/3 計画			20/3 実績		
	金額	対売上高 比率	前期比	金額	対売上高 比率	前期比
売上高	115,200	100.0	+ 4.4	110,384	100.0	+ 5.0
売上原価	63,400	55.0	+ 6.1	59,738	54.1	+ 5.3
販管費	37,600	32.6	+ 9.0	34,503	31.3	+ 6.4
営業利益	14,200	12.3	- 12.0	16,143	14.6	+ 1.1
経常利益	14,700	12.8	- 30.0	20,990	19.0	+ 11.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,300	8.9	- 29.0	14,503	13.1	+ 7.6

# 2021年3月期 通期業績計画 海外 (ペンサグループ)

- 売上高 / 新型コロナウイルス感染拡大による影響は軽微と想定
- 営業利益 / 一時的なPMIコストが発生

(単位：百万円, %)

期	21/3 計画		欧州		米国	
	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率	金額	対売上高比率
売上高	34,800	100.0	18,500	100.0	16,300	100.0
売上原価	25,200	72.4	13,100	70.8	12,100	74.2
販管費	9,500	27.3	5,700	30.8	3,800	23.3
営業利益	100	0.3	- 300	- 1.6	400	2.5
経常利益	100	0.3				
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	0.3				

2020年度 想定レート(為替レート：TTM)	
1ユーロ	118円
1USドル	108円

# 東和薬品グループ 連結対象会社

## 東和薬品

代表取締役社長	吉田 逸郎
所在地	大阪府門真市
主要事業	医療用医薬品の製造販売



【大阪工場】



【岡山工場】



【山形工場】



## ジェイドルフ製薬

代表取締役社長	越田 博武
所在地	滋賀県甲賀市
主要事業	医療用医薬品の製造販売
東和の出資比率	100%



## 大地化成

郷原 一丸
兵庫県神崎郡福崎町
医療用原薬・中間体の研究開発及び製造
100%



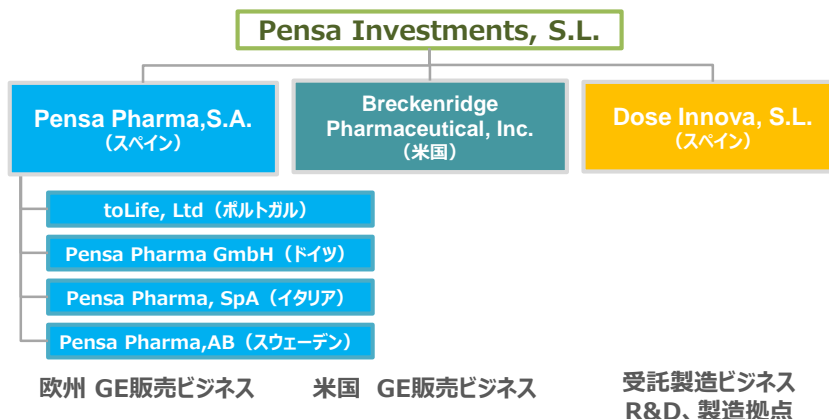
## グリーンカプス製薬

植木 俊行
静岡県富士宮市
ソフトカプセル製造
100%



## Pensa Investments, S.L.

Managing Director	久保 盛裕
所在地	スペイン カタルーニャ州 バルセロナ
主要事業	欧州ジェネリック医薬品販売、 米国ジェネリック医薬品販売、 受託製造
東和の出資比率	100%



# 健康関連新規事業の創出

当社企業理念の「人々の健康に貢献する」を軸に幅広く事業を展開する

健康に貢献できる企業を目指し  
「健康寿命の延伸」を実現する  
事業を展開

ジェネリック  
医薬品事業

- ・「健康維持への取り組み」に貢献する
- ・「健康不良状態（未病、フレイル、MCI（軽度認知障害）、メンタル不調を含む）を健康な状態に戻す、または悪化させない」という観点から人々に貢献する
- ・「病気を治療して健康になる」という領域でも、医薬品の製造販売以外で人々に貢献する
- ・地域社会を始めとした「地域包括ケアシステム」への取り組みを行う

# 新規事業の創出 これまでの取り組み

## 【健康寿命の延伸に向けた取り組み】

### ■ 国立循環器病研究センターとの共同研究

「健康寿命延伸を目的とした、薬物治療、疾患予防、健康維持・増進などのエビデンス構築」に関する共同研究契約を締結し、「健都ヘルスケア科学センター」を開設、2020年4月より植物由来成分の認知症予防効果に関する共同研究を開始

### ■ タイムセラ社との共同研究

ブロモクリプチンの家族性アルツハイマー病新規適応を目指し、iPS創薬によるドラッグ・リポジショニングに関する共同研究開発契約を締結

### ■ 大阪府立病院機構大阪精神医療センターとの共同研究

アルツハイマー型認知症のバイオマーカーに関する共同研究契約を締結

■ 「難聴の早期発見」と「聞こえの質の維持」を通じたアプローチ  
対話型支援機器「comuoon」を販売



## 【地域包括ケアシステムへの取り組み】

### ■ 介護・リハビリテーションなどの従事者のサポート

株式会社イノフィスに出資し作業支援ロボット「マッスルスーツ」を販売

### ■ 地域社会の健康づくり

大阪府門真市と「健康づくりの推進に関する協定」、北海道厚真町と新規産業の創出および健康づくりの推進に関する協定」を締結



## 【その他の取り組み】

### ■ バンダイナムコ研究所と服薬支援ツールの開発

患者さんの服薬アドヒアランス向上・残薬問題に対応するため、バンダイナムコ研究所と服薬支援ツールを共同開発



# 2020年6月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発・代表医薬品名（会社名）
過活動膀胱治療剤	イミダフェナシンOD錠0.1mg「トーフ」	ウリトスOD錠0.1mg (杏林製薬) ステープラOD錠0.1mg (小野薬品)
小腸コレステロールトランスポーター阻害剤 (高脂血症治療剤)	エゼチミブOD錠10mg「トーフ」	ゼチーア錠10mg (MSD=バイエル薬品)
	エゼチミブ錠10mg「トーフ」	
アルツハイマー型認知症治療剤	ガランタミンOD錠4mg/8mg/12mg「トーフ」	レミニールOD錠4mg/8mg/12mg (ヤンセンファーマ=武田薬品)
選択的 $\alpha_1A$ 遮断薬 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬	シロドシン錠2mg/4mg「トーフ」	ユリーフ錠2mg/4mg (キッセイ薬品=第一三共)
非ステロイド性消炎・鎮痛剤 (COX-2 選択的阻害剤)	セレコキシブ錠100mg/200mg「トーフ」	セレコックス錠100mg/200mg (アステラス)
前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤 (ホスホジエステラーゼ5阻害剤)	タダラフィルOD錠2.5mgZA/5mgZA「トーフ」	ザルティア錠2.5mg/5mg (日本新薬)
5 $\alpha$ 還元酵素阻害薬 前立腺肥大症治療薬	デュタステリドカプセル0.5mgAV「トーフ」	アボルブカプセル0.5mg (GSK)
NMDA受容体拮抗 アルツハイマー型 認知症治療剤	メマンチン塩酸塩OD錠5mg/10mg/20mg「トーフ」	メマリーOD錠5mg/10mg/20mg (第一三共)
	メマンチン塩酸塩錠5mg/10mg/20mg「トーフ」	メマリー錠5mg/10mg/20mg (第一三共)
プロトンポンプ・インヒビター	ラベプラゾールNa錠5mg「トーフ」	パリエット錠5mg (イーザイ=EAファーマ)
持続性選択H <sub>1</sub> 受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤	レボセチリジン塩酸塩錠5mg「トーフ」	ザイザル錠5mg (GSK)
	レボセチリジン塩酸塩シロップ0.05%「トーフ」	ザイザルシロップ0.05% (GSK)

6月追補品合計で初年度売上 約32億円を計画しております。

10成分 22品目を上市予定

**将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。**

お問い合わせ先

---

東和薬品株式会社 広報・IR室

[ir@towayakuhin.co.jp](mailto:ir@towayakuhin.co.jp) TEL.06-6900-9102 FAX. 06-7177-4960